

平成19年全国物価統計調査(全国物価地域差指数編)から ～？沖縄の物価は安いのかな？～

都道府県別に物価水準(全国平均=100)をみると、沖縄県の総合指数は91.9となり全国で最も低い、次いで群馬県(94.7)、宮崎県(94.9)などとなっている。

最も高いのは、東京都の108.5で次いで神奈川県(104.8)、京都府(102.8)などとなっている。

なお、沖縄県は、最も高い東京都と比べて18.1%(注)低くなっている。

注) %=(沖縄県-東京都)/東京都*100

図1 都道府県別総合指数(全国平均=100)

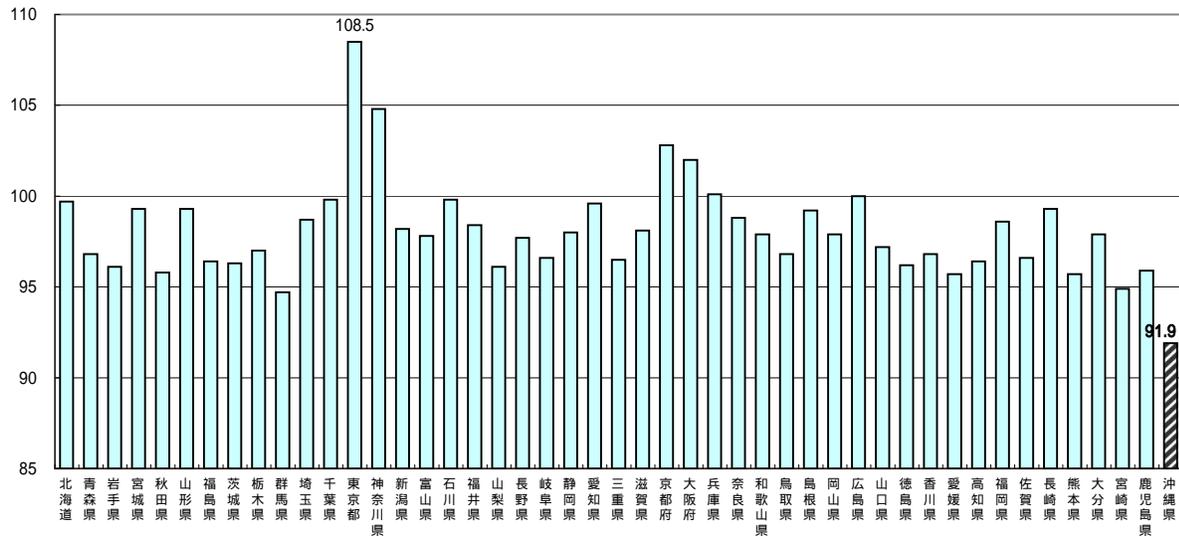


表1 都道府県別総合指数 上位・下位(3位)

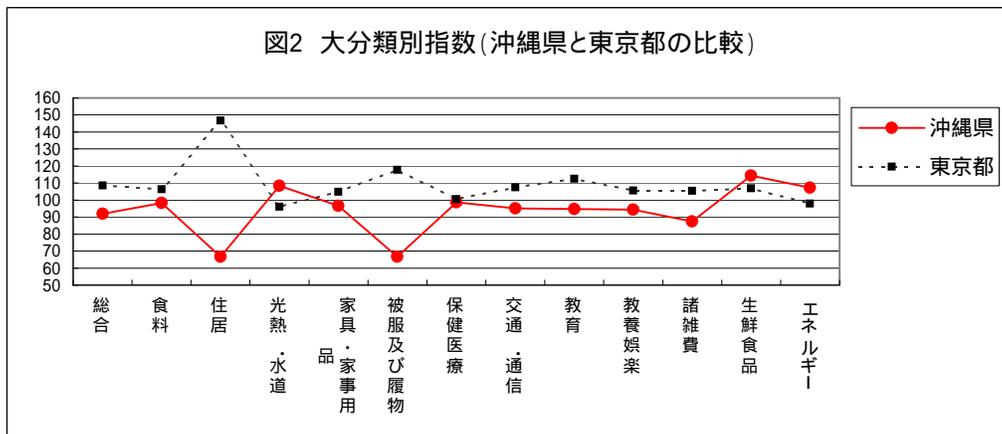
都道府県	平成19年		平成14年		指数差
	指数	順位	指数	順位	
東京都	108.5	1	108.7	1	-0.2
神奈川県	104.8	2	106.1	2	-1.3
京都府	102.8	3	102.4	3	0.4
宮崎県	94.9	45	93.4	46	1.5
群馬県	94.7	46	94.6	44	0.1
沖縄県	91.9	47	92.3	47	-0.4

*指数の差 = 平成19年の指数 - 平成14年の指数

沖縄県を前回(平成14年)と比べてみると、総合指数は91.9(47位)で前回の92.3(47位)から0.4ポイント下落した。

なお、最も高い東京都と最も低い沖縄県の差は16.4ポイントから16.6ポイントに拡大した。

図2 大分類別指数(沖縄県と東京都の比較)



資料:総務省統計局 平成19年全国物価統計調査(全国物価地域差指数編)